



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

C O M P A N Y P R O F I L E

Mission グループ理念

良質な医療インフラを創造し 生涯を見守る「まちのあかり」として 健やかな暮らしに貢献します

地域住民の健康を支えるグループとして、
医療と生活の基盤を創造すること。

人々の暮らしと心に寄り添い、生きる喜びを支える存在として、
いつもそこにいること。

住み慣れた場所で生涯安心して暮らせる
「まちづくり」の一翼を担うこと。

すべては、地域の笑顔と未来のために。

Top Message トップメッセージ

地域の医療と健康な暮らしを守るために 持続可能な社会インフラとして進化し続ける。

当社は1999年に医薬品流通・薬局・システム開発の3つの事業が集結してスタートしました。創業以来、「将来にわたり持続可能な医療インフラの構築」、「地域に根ざした薬局であること」、そして「心の拠りどころとなる存在であること」を大切にしています。これらの想いは、現在の企業理念にも受け継がれています。当社グループは、地域の人々が住み慣れた場所で生涯安心して暮らせる「まちづくり」の一翼を担うべく、持続可能な医療インフラの構築に取り組んでまいりました。

超高齢社会の進展にともなう社会保障費増加への対応や地域包括ケアシステムの深化、医療DXの加速に加え、医療ニーズの多様化や担い手不足など、当社グループを取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中、地域に根ざした医療の中心的存在として、限られた医療資源の中でもすべての人が安心して暮らせる持続可能な社会の実現を目指し、2025年10月に、2035年のありたい姿を示した長期ビジョン「まちのあかりビジョン2035」を策定し、公表しました。

この長期ビジョンの実現に向けた第一歩として、2026年5月、「第7次中期経営計画」を策定しました。本計画では、これまでに培ってきた顧客基盤をさらに進化させ、サービスの高度化と提供領域の拡張に取り組みます。これにより蓄積されるデータやノウハウを活用し、医薬品の需給最適化や安定供給の実現を通じて、地域医療全体の最適化に貢献します。

また、これらの取り組みを支える基盤として、コーポレート・ガバナンスの強化やサステナビリティへの対応を一層推進し、ステークホルダーの皆さまから信頼される経営を実践してまいります。

当社グループは、長期ビジョンと第7次中期経営計画のもと、持続的な成長と企業価値の向上を実現し、「まちのあかり」として地域社会に貢献し続けてまいります。

株式会社メディカルシステムネットワーク
代表取締役社長

田 尻 福 雄



価値創造プロセス

長期ビジョン達成に向けて

これまで築き上げた薬局・医療機関との接点・取引ネットワークを基盤に、
提供価値をさらに高め、総合的な薬局経営支援を実現する新たなフェーズへ移行します。
地域医療の課題解決をリードする存在として、
すべての人が安心して暮らせる社会の実現を目指します。

価値創造の基盤

- 人的資本**
 - 自律型人材・組織の実現
 - 多様な人材の活躍と生産性向上
- DX/データ**
 - 顧客・患者を深く理解するデータ基盤の構築
 - データ活用による価値創造と経営の高度化
- ESG/ガバナンス**
 - 信頼され続ける誠実な経営
 - プライバシーとサイバーセキュリティ保護

価値創造の中核



長期ビジョン

まちのあかりビジョン 2035

私たちが目指す社会
地域社会に根ざした
医療の中心的存在として住民に寄り添い
高齢化や医療資源の制約がある社会においても
すべての人が安心して暮らせる社会を目指します。

“まちのあかり”には、「社会や地域が置かれる『環境』や人々の『暮らし』を深く理解し、真のニーズに応えることで、すべての人々に安心と信頼を届ける企業でありたい」という想いが込められています。
人々の暮らしにあかりを灯し続ける。
“まちのあかり”は、全ての事業活動に息づいています。

※2026年3月末時点
(事業ごとの重複を除いた実数)

Business Domain

まちのあかりビジョン2035を実現するための
3つの事業領域

直営地域薬局の運営で培ったノウハウを、当社サービスを利用する全国17,000施設以上の
薬局・医療機関へ展開するとともに、医薬品流通の効率化と安定供給を推進します。
3つの事業領域を一体で推進することで、持続的な成長と社会価値の向上を目指します。



メディカル領域

地域薬局・訪問看護・給食・
サービス付き高齢者向け住宅

医療と生活をつなぐ拠点として、
専門性と先進技術で地域に寄り添い
新たな薬局価値を創造



メディカルサプライ領域

医薬品製造販売・
医薬品物流

医薬品流通の効率化・安定供給を
「メディスンネットワーク」で推進し、
医薬品流通の最適化に貢献



メディカルサポート領域

医薬品ネットワーク・
デジタルシフト

全国の薬局・医療機関を支援する
多種多様なサービスで、
薬局・医療機関と患者さま
双方の価値を創出



患者さま・地域住民を起点とした事業展開と、医薬品流通全体への影響力拡大で社会価値の向上へ



ちかくで支える、確かな「安心」を。

メディカル領域

薬局を起点に「医療」と「生活」をつなぎ、
専門性の高い医療サービスと、患者さま・地域住民の皆さまに寄り添った健康支援を提供します。
地域医療を支える基盤づくりに貢献するとともに、
社会課題に応える新たな医療モデルの実現を目指します。

地域薬局

地域を支える“まちのあかり”として選ばれる地域薬局を目指して

地域に根ざした医療サービスを提供するため、それぞれの医療課題の把握に努め、患者さまや地域住民の皆さまに必要とされ、信頼され、愛される地域薬局づくりに取り組んでいます。
また、医師や看護師、介護職員など多職種との情報共有と連携を通じて、それぞれの専門性を活かしたケアを実践し、患者さまが住み慣れた場所で自分らしく生活できるよう支援を行っています。
私たちは地域の心の拠りどころとなる“まちのあかり”として、健やかな暮らしと健康を支えていきます。



なの花薬局興部店(北海道紋別郡)

地域のニーズに合わせた薬局づくり

なの花薬局をはじめ、全国に店舗を展開しています。地域特性や医療機関の特徴に合わせた店舗づくりを行うとともに、患者さまの視点に立った快適で利用しやすい環境づくりに取り組んでいます。

直営地域薬局 474店舗
ドラッグストア 7店舗
ケアプランセンター 1店舗
訪問看護ステーション 3か所

全国店舗数
485店舗
2026年6月末時点

なの花薬局



地域密着型店舗

■マンツーマン



なの花薬局登戸店
(神奈川県川崎市)

■医療モール



なの花薬局エスバル仙台店
(宮城県仙台市)

大型門前型店舗



なの花薬局千里中央店
(大阪府豊中市)



なの花薬局北大店
(北海道札幌市)



在宅訪問・緩和ケア

なの花薬局では、地域に根ざした薬局として培ってきた信頼と、長年にわたり積み重ねてきた在宅訪問のノウハウを活かし、患者さまのQOL(生活の質)を重視した在宅医療に取り組んでいます。医師や看護師との往診同行、多職種との情報共有などを通じて連携を深めるとともに、がん治療や緩和ケアにも対応できる薬剤師の育成を進めています。



薬学ケアの質向上の取り組み

薬剤師に求められる役割が「対物」から「対人」へと変化する中、一人ひとりが地域のニーズや自身の目標に応じて学びを選択し、専門性を高められる環境を整えています。患者さま一人ひとりに寄り添った医療を提供できる薬剤師の育成に加え、AIの活用による業務効率化や薬学ケアの質向上を進め、次世代の医療提供のあり方を追求しています。



予防・未病・健康サポート

地域住民の皆さまの健康づくりを支えるため、気軽に参加できる健康イベントを定期的で開催しています。薬剤師によるお薬相談や講演のほか、各種測定機器を活用した健康チェック、管理栄養士による栄養相談や料理教室・試食会などを通じて、健康について学び、相談できる機会を提供しています。

地域に求められる医・食・住のインフラを提供



サービス付き高齢者向け住宅

24時間スタッフが常駐し、入居者さま一人ひとりに寄り添いながら、安心で快適な暮らしを支えるサービス付き高齢者向け住宅「ウィステリア」を運営しています。



メディカルスクエア (メディカルモール開発)

地域特性やニーズに合わせた医療モールの開発・運営を通じて、地域医療の充実と利便性向上に貢献しています。



医師開業支援

開業を希望される医師に対し、事業計画の検討や診療圏分析、物件選定、開業準備などをトータルでサポートしています。



訪問看護

住み慣れた場所で安心して療養生活を送れるよう、多職種と連携しながら、地域に根ざした質の高い看護を提供しています。

なの花訪問看護ステーション

給食

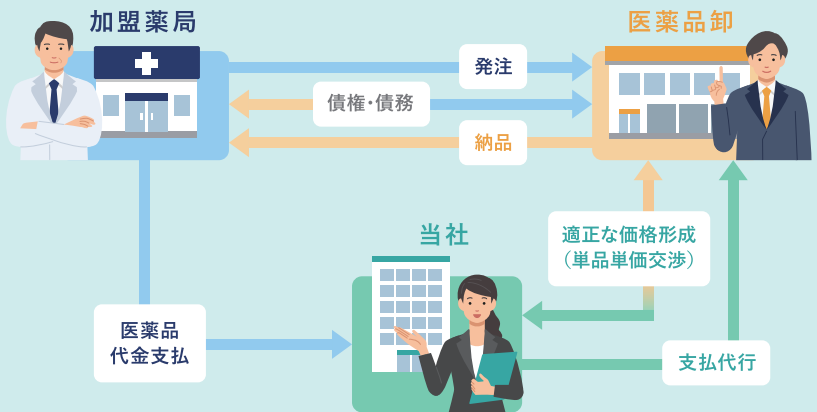
毎日の食事を通して、患者さまの健康維持と回復を支える、安心・安全で心のこもった給食を提供しています。



薬局経営を支える各種サービス

医薬品購入サポート

医薬品の発注・在庫管理システムの提案、医薬品卸会社との適正な取引価格の形成、代金支払の一本化などを通じて、薬局の購買業務の効率化と経営の安定化を支援しています。



不動産在庫消化サービス

「デッドストックエクスチェンジ」※特許取得



廃棄リスクの高い不動産医薬品を加盟薬局間で有効活用できる独自のマッチングサービスです。余剰在庫の流通を促進することで、廃棄ロスの削減と在庫効率の向上を支援しています。

在宅&地域支援・医薬品供給対応体制加算

取得支援サービス「アカリエ」



在宅医療への対応や地域支援・医薬品供給対応体制加算の算定をサポートするサービスです。担当アドバイザーが伴走し、直営地域薬局の実務ノウハウを活かして課題解決を支援しています。

オンラインコミュニティ「しゃべり場」



薬局経営者同士が情報共有、知見の交換ができるオンラインコミュニティを提供しています。加盟薬局間の相互交流を通じて、経営課題の解決や運営ノウハウの蓄積を支援しています。

セミナー開催・各種研修サービス

調剤報酬改定への対応をはじめ、薬剤師研修や新人研修など各種セミナーを実施し、薬局の人材育成と専門性向上を支援しています。

各種サービス詳細
お問い合わせ



課題に応える、確かな「ちから」を。

メディカルサポート領域

全国の薬局が抱える課題に寄り添い、多種多様なサービスを通じて薬局・医療機関の運営基盤の強化を支援します。薬局機能の高度化を後押しすることで、薬局と患者さま双方の価値創出につなげ、地域医療の発展に貢献することを目指しています。

医療の未来を支えるデジタルシフトの取り組み



かかりつけ薬局化支援サービス

患者さまと薬局をつなぐさまざまな機能を集約したLINE公式アカウント「つながる薬局」を提供しています。処方箋送信機能に加え、服薬期間中のフォローアップ、オンライン服薬指導、電子お薬手帳などの機能を通じて、患者さまと薬局の継続的なコミュニケーションを支援しています。



(株)ファーマシフト 子会社



在庫管理システム「LINCLE」

医薬品の過去の処方量や来局頻度といった実績データを基に需要を予測し、発注の手間を大幅に軽減する在庫管理・発注システムを提供しています。自動発注機能により適正な在庫量を維持しやすくすることで、在庫管理業務の効率化や廃棄ロスの削減につなげています。こうした機能により、薬剤師が対人業務に専念できる環境づくりを支援しています。



薬剤師会向け調剤実績共有システム「LINCLEちいき版」

薬局が相互に調剤実績情報を共有・参照できるシステムを、全国の薬剤師会向けに提供しています。各薬局が調剤実績を共有することで医薬品の融通や在庫最適化を促進し、地域全体での医薬品供給の効率化を支援しています。





あたりまえを届ける、確かな「みち」を。

メディカルサプライ領域

医薬品流通の効率化を通じて、患者さまと医療提供体制の双方に貢献します。

医薬品製造販売事業と医薬品物流事業を一体的に展開し、
製造から供給までを通貫して担うことで、医薬品の安定供給と流通効率の向上を図り、
地域医療を支える持続可能な供給体制の構築を目指しています。

■ 医薬品製造販売

薬局の知見を活かした高品質なジェネリック医薬品

患者さまの医療費負担の軽減と、持続可能な医療制度を支えるため、ジェネリック医薬品の供給に取り組んでいます。製薬メーカーと連携し、品質を確保した医薬品の安定供給に加え、薬局の知見を反映したパッケージ表示やPTPシートの設計を通じて、医療過誤の防止に取り組み、調剤業務の安全性向上に貢献しています。



(株)フェルゼンファーマ 子会社



■ 医薬品物流

安心・安全な医薬品を患者さまの手に渡るまで

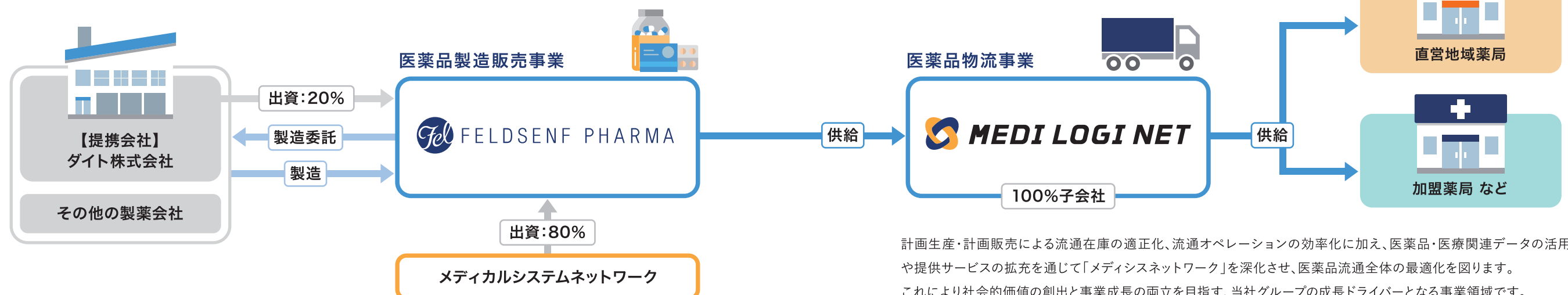
ジェネリック医薬品を中心に、関東および九州の大型物流拠点から全国の薬局・医療機関へ安定的に供給しています。入荷から保管、出荷までの各工程で品質を確保しながら、安心・安全で効率的な物流オペレーションを推進。これにより、医薬品流通の効率化を図るとともに、安定供給の実現に貢献しています。



(株)メディロジネット 子会社



製造・販売から流通まで、グループの強みを生かした仕組みづくり



計画生産・計画販売による流通在庫の適正化、流通オペレーションの効率化に加え、医薬品・医療関連データの活用や提供サービスの拡充を通じて「メディスンネットワーク」を深化させ、医薬品流通全体の最適化を図ります。これにより社会的価値の創出と事業成長の両立を目指す、当社グループの成長ドライバーとなる事業領域です。

Sustainability サステナビリティの取り組み

〈基本方針〉

地域住民のQOL(Quality of Life)向上と 持続可能な社会への貢献を目指して

当社グループは、超高齢社会を迎えた我が国において、
地域住民の健康を支え、生涯安心して暮らせる医療と生活の基盤を創造するため、
ステークホルダーとともに環境や社会を取り巻く課題に真摯に向き合い、
様々な事業活動・企業活動を通じて、
持続可能な社会の実現と持続的な成長の両立を目指します。

マテリアリティと関連するSDGs

01. 人と環境の健康を支える最適な医薬品流通

医薬品の品質・安全性と安定供給を確保するとともに、在庫最適化やロス削減の推進により、医薬品流通に伴う環境負荷の低減を図ります。



02. 地域医療を支え、安心して暮らせるまちの共創

地域包括ケアの担い手として、患者さまや地域住民一人ひとりのニーズに寄り添い、地域社会や他の医療機関と連携しながら、医療の質・安全性・アクセス性の向上に取り組みます。



03. 働く人の成長と幸せを支える職場づくり

学びと挑戦の機会の提供と、心身の健康への配慮を通じて、多様な人材が活躍できる組織基盤を強化し、働く人一人ひとりが安心して力を発揮し、成長と幸せを実感できる環境づくりを進めます。



04. 信頼あるデジタル基盤で医療体験の向上を実現

医療・個人情報を扱う企業としてプライバシー保護とサイバーセキュリティを徹底し、信頼性の高いデジタル基盤を整備するとともに、DXの活用により業務の効率化と医療サービスの質の向上を図ります。



05. 信頼され続ける誠実な経営の推進

医療・公共性の高い事業を担う企業として、高い倫理観と透明性に基づく意思決定を徹底するとともに、取締役会の監督機能の強化、コンプライアンスの徹底、適切な情報開示を通じて、社会から信頼され続ける誠実な経営を推進します。



Environment

環境保全への取り組み

環境リスクマネジメント・ 環境保全に関する取り組みと実績

当社グループでは、主として医薬品の流通合理化への取り組み、資源保全活動、環境に配慮した産業廃棄物処理、気候変動への対策などに取り組んでいます。

医薬品の流通合理化への取り組み

- 医薬品の配送回数の削減
(定時自動発注／1日1回配送／土曜配送なし)

- 医薬品在庫情報の共有

加盟薬局ならびに、直営地域薬局における返品・急配の削減や定期発注など、配送頻度の適正化によりCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

- 医薬品廃棄の削減

加盟薬局間で年間約12億円分の不動産在庫を売買できる仕組みを提供するとともに、自動発注システムによる在庫管理を通じて、医薬品の廃棄量削減に取り組んでいます。

環境に配慮した産業廃棄物の処理

- 適切な産業廃棄物の処理

保管期限が過ぎた処方箋や調剤録などは、外部の業者による溶解処理などを行い、適切に産業廃棄物の処理を実施しています。

- 注射針の回収

使用済の注射針を薬局店舗で回収しています。針刺しなどの事故が起こらないよう、医療廃棄物の適正な処理に取り組んでいます。

在庫情報の共有を通じて環境負荷の低減に貢献

地域における医薬品在庫情報の共有を推進することで、配送回数や返品削減に取り組んでいます。これにより、不要な物流によるCO₂排出を抑制するとともに、不動産の有効活用や医薬品の廃棄ロスの削減につなげています。限られた医療資源を無駄なく活かすこの取り組みは、医療現場の効率化と環境への配慮を両立し、持続可能な社会の実現に貢献しています。



気候変動への対策

- 建物の省エネ対策

薬局店舗ではLED照明を導入するとともに、寒冷地の店舗では外壁の断熱化や高効率設備の採用を積極的に行っています。また、一部のサービス付き高齢者向け住宅では、外断熱工法や高断熱サッシを採用し、省エネ効果を高めています。

- クールビズの実施

季節に応じた室温設定やクールビズを実施し、省エネの推進とCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

- 医薬品の配送回数の削減によるCO₂の排出量削減

資源保全活動

- コピー用紙使用量の削減

出退勤管理システムの導入、請求書・契約書・社内書類申請のオンライン化などを推進しています。

- プラスチックごみの削減

レジ袋無料配布を終了し、必要な方に対してはバイオマス素材のレジ袋の有料販売を行っています。

- ペットボトルキャップの回収

Social

社会への貢献

地域薬局の展開と
医療の質向上の取り組み

地域に根ざした医療サービスを提供するため、それぞれの医療課題の把握に努め、患者さまや地域住民の皆さまに必要とされ、信頼され、愛される地域薬局づくりを進めています。また、薬剤師に求められる役割が「対物」から「対人」へと変化する中、一人ひとりが地域のニーズや自身の目標に応じて、学びを選択し、専門性を高められる環境を整えています。

学会・学術発表

医薬分野の研究発展、国民の医療及び健康増進への貢献の観点から、学会への積極的参加と学術発表を行っています。学会参加や研究の経験がない社員にも、経験豊富な担当者がサポートし、安心して取り組める環境を整えています。また、教育機関や医療機関との共同研究にも積極的に取り組んでいるほか、学会でのセミナー共催なども実施しています。



地域住民への予防・未病啓発活動

地域住民の未病・予防への取り組みとして、地域の皆さまが気軽に参加できるイベント「健康フェア」を定期的で開催しています。薬剤師によるお薬相談や講演、各種計測機器を使った無料簡易健康診断、管理栄養士による栄養相談や試食会などを薬局店舗や公民館などで実施しています。さらに、高齢者向けの認知症予防などの運動イベントにも力を入れています。また、一般社団法人日本保険薬局協会(NPhA)と協力し、夏場の気温上昇に伴う体調不良の方々をお守りするために、薬局を休憩所として開放するとともに、店舗にステッカーを掲示し、熱中症予防の啓発活動を実施しています。

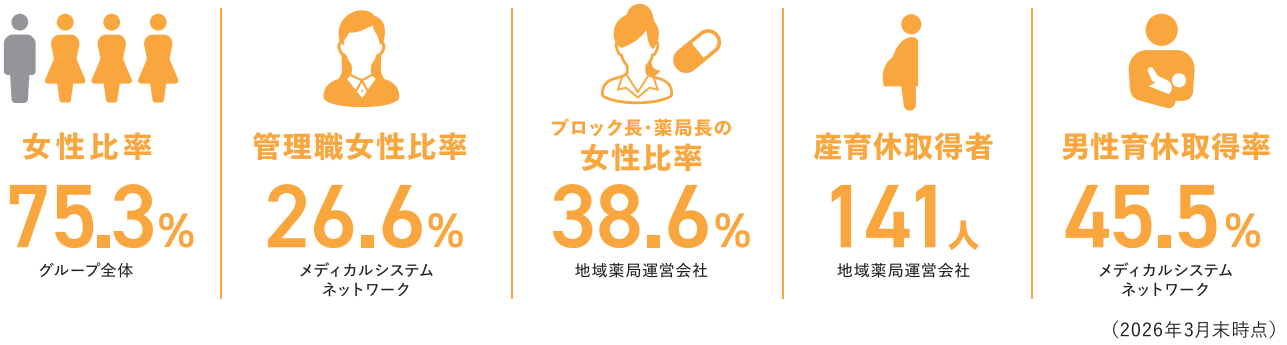


医薬品の安定供給と医療DXによる地域貢献

株式会社メディロジネットでは、医薬品物流会社として、「医薬品の安定的・持続的な供給」、「医療機関への迅速・最適な情報提供」、「医療DXの推進」を理念の3つの柱として掲げています。これからの時代に求められる新たな医療インフラの創造に挑戦しつづけ、地域医療の発展と人々の健やかな暮らしに貢献します。

ダイバーシティと働きやすい環境づくりの推進

従業員一人ひとりが働きやすく活躍できる環境づくりを進めています。仕事と出産・育児・介護などのライフイベントとの両立を支援するとともに、障がい者雇用の促進にも取り組み、多様な人材が活躍できる職場を目指しています。



健康づくりの支援と職場環境の整備

健康宣言

メディカルシステムネットワークグループは、地域の人々の健やかな暮らしを支える企業として、社員と家族が心身ともに健康であることが最も重要と考えています。わたしたちは、グループ全体で健康意識を高めるとともに、健康づくりの支援と職場環境の整備に取り組むことを約束します。

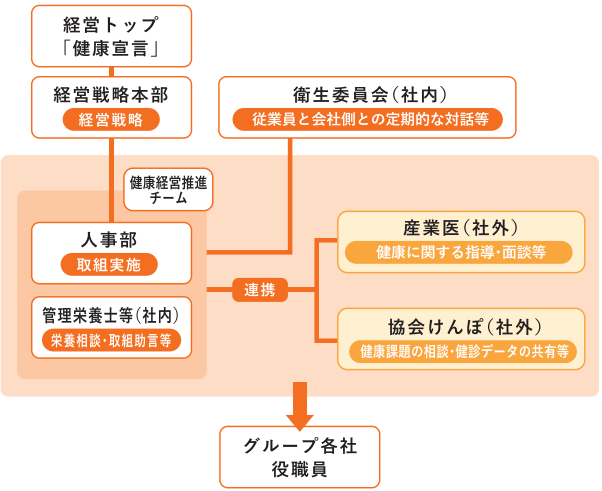
健康経営の推進体制

人事部担当者と地域薬局事業部の管理栄養士などで健康経営推進チームを結成し、従業員が心身ともに健康な状態で、活気のある働きができるように、健康経営に配慮した取り組みを推進しています。

「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」認定



従業員へ向けた健康増進の取り組みを実施してきた結果として、2020年より健康経営優良法人に認定されています。



従業員の健康と職場の安全確保

衛生委員会を活用し、職場の安全確保、職場環境の改善に努めています。また、従業員の心身の健康障害防止、健康増進を目的に、ストレスチェックやメンタルヘルス研修を実施しています。さらに、福利厚生の一環として社内公認サークル制度を設けており、2026年6月時点で23のスポーツ関連サークルが活動中です。

「スポーツエールカンパニー2026」認定



従業員の健康推進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取り組みを行っている企業として「スポーツエールカンパニー」に認定されています。今回で7度目の連続認定となるため、「シルバー」認定を受けました。

Governance

コーポレート・ガバナンス

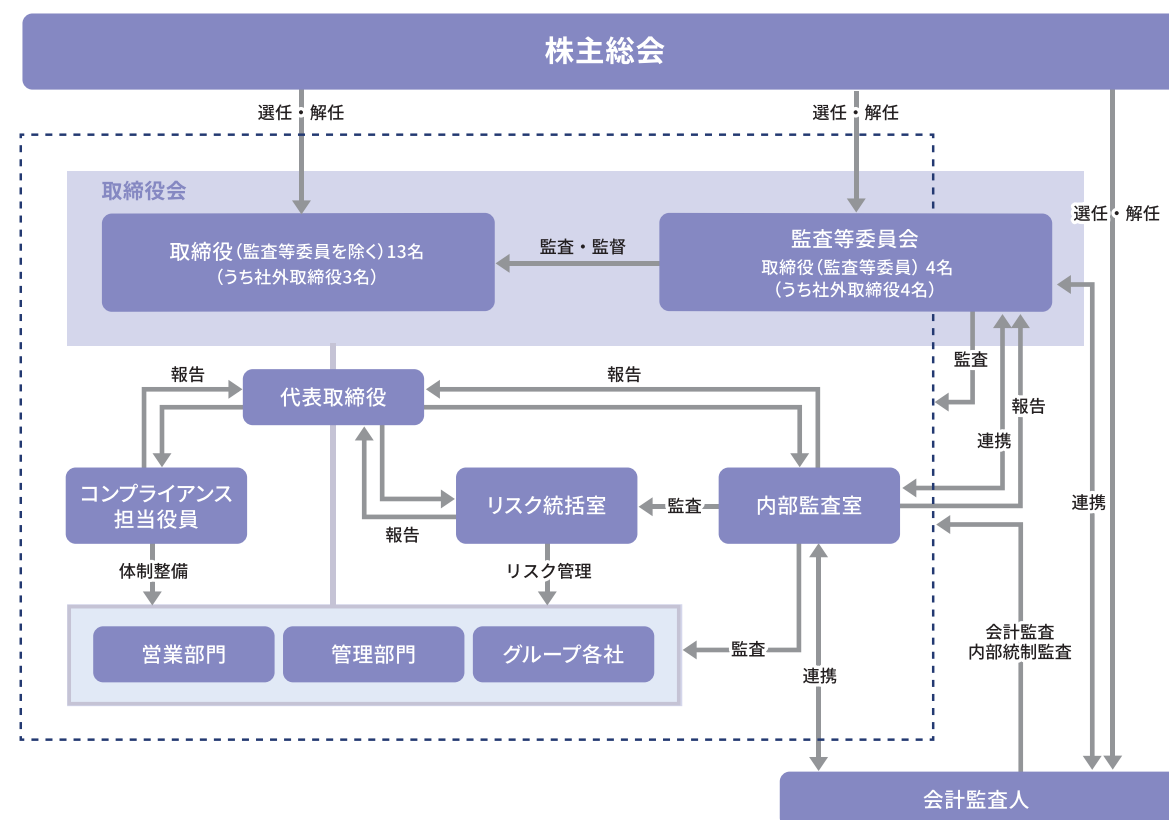
■ 基本的な考え方（方針・指針）

当社グループは、法令遵守、企業倫理の重要性を認識するとともに、変動する企業環境に対応した迅速な経営意思決定と経営の健全性向上を図り、企業価値を高めていくことを経営上の最重要課題の一つに位置づけています。

これらを実現する体制として、複数の社外取締役で構成される監査等委員会を設置し、経営の意思決定と業務執行の監督に透明性を確保するとともに、執行役員制度を採用して、経営の監督と業務の執行を明確にしています。



【推進体制】



■ リスク管理

当社グループは、リスク統括室が「リスク管理基本規程」「危機対応規程」「リスク管理運用指針」および「サステナビリティ委員会運用内規」に基づき、サステナビリティに関するリスクを含めた事業リスクの特定と分類を担い、リスクの所管部門を選定し、代表取締役の承認のもと、リスク対応計画を策定しています。

リスク対応計画およびその進捗状況、ならびに具体的な追加対策については、事業年度毎に取締役会に上程し、審議・決定し、進捗状況報告を行っています。このように、事業に係るリスクを最小化しつつ、同時に事業に関連する機会を拡大するために、主に中期経営計画に施策として盛り込んでいます。

CSR

社会貢献活動

共同研究・寄附講座（産学連携）

医療や看護の現場が病院から在宅へと移行していく中で、地域包括ケアシステムの担い手である私たちは、地域の基幹病院との連携が欠かせません。さらなる連携拡大に向けて、大学などの教育研究機関との共同研究や寄附講座の開設を通じ、産学連携の取り組みに注力しています。



移植医療の推進・普及啓発

移植医療に関する正しい知識の普及啓発や、医療機関、移植者・臓器提供者を支援する体制の構築を目指して、北海道全域の大学や医療機関が結集してつくられた北海道移植医療推進財団の活動を支援しています。



社会福祉フォーラム

少子高齢化や保育所不足、社会保障の問題など、地域が考えるべき「福祉」について、主催する北海道内の4つの社会福祉法人とともに、自治体や新聞社などの後援を得て継続的にフォーラムを開催しています。



文化・芸術活動

サービス付き高齢者向け住宅ウィステリアなどのグループ施設において、交響楽団を招いたコンサートや朗読劇の開催に加え、地域の小学生や演奏家へ演奏会場を提供し、文化・芸術活動を支援しています。



スポーツを通じた健康増進

ラグビー、アイスホッケー、バドミントンなど、地域のクラブチームの活動支援やスポーツ大会への協賛、小学校でのスポーツ指導に関するボランティア活動などを通じ、子どもの健全な育成や体力向上、国際交流、アスリートのセカンドキャリアを支援しています。



History

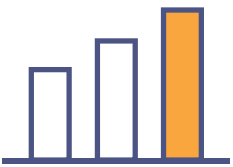
グループの歩み

2026	05	第7次中期経営計画公表
	04	医薬品ネットワーク加盟件数12,000件達成(市場シェア20%超)
2025	10	長期ビジョン「まちのあかりビジョン2035」公表
	02	株式会社ファルモが自己株式を取得したことに伴い、同社を持分法適用関連会社化
2024	06	医薬品ネットワーク加盟件数10,000件達成
	04	株式会社メディロジネットを設立
2023	11	株式会社ファーマシフトを完全子会社化
	10	東京証券取引所 スタンダード市場へ移行
2022	04	東京証券取引所 プライム市場へ移行
2021	07	株式会社ひまわり看護ステーションを吸収合併
	03	医薬品ネットワーク加盟件数6,000件達成(市場シェア10%超)
2020	10	調剤薬局向けのデジタルシフト事業を開始(株式会社ファーマシフトを設立)
	01	医薬品ネットワーク加盟件数5,000件達成
2019	01	株式会社永富調剤薬局(現株式会社なの花九州)がグループ入り
2018	01	東北地方に本格進出(現株式会社なの花東北を子会社化)
2017	10	株式会社システム・フォー、株式会社ファーマホールディング及び株式会社日本レーベンを吸収合併
	07	北海道内の薬局運営会社を株式会社なの花北海道に集約
2016	09	医薬品製造販売事業を開始(株式会社フェルゼンファーマを設立)
	05	訪問看護事業を開始(株式会社ひまわり看護ステーションを子会社化)
2013	11	九州地方に本格進出、給食事業を開始 (株式会社トータル・メディカルサービス(現株式会社なの花九州)がグループ入り)
	01	医薬品ネットワーク加盟件数1,000件達成
2010	06	東京証券取引所 市場第一部指定
2008	09	東京証券取引所 市場第二部上場
2007	12	高齢者専用賃貸住宅(ウイステリアN17開業、後にサービス付き高齢者向け住宅)運営開始
	01	中部地方に本格進出(現株式会社なの花中部を子会社化)
2005	10	関東・関西地方に本格進出(現株式会社なの花東日本、株式会社なの花西日本を子会社化)
2002	12	北海道内54店舗で調剤薬局事業開始(株式会社ファーマホールディングを子会社化)
		賃貸・設備関連事業開始(株式会社日本レーベンを子会社化)
	03	大阪証券取引所 ナスダック・ジャパン市場上場(現JASDAQ)
2001	03	薬局向けシステム開発を行う有限会社システム・フォーを子会社化(後に株式会社システム・フォー)
2000	04	「医薬品ネットワークシステム(O/E system)」が完成、稼働開始
1999	11	「医薬品情報システム」が完成、医薬品システム関連業務を開始
	09	株式会社メディカルシステムネットワークを設立

数字で見るMSNW

連結売上高

2026年3月期実績



1,321億円

処方箋枚数

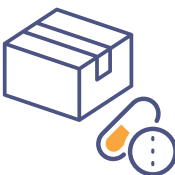
2026年3月期実績



年間1,020万枚

医薬品発注取扱高

2026年3月期実績



7,557億円

地域薬局店舗数

2026年6月末時点



474店舗

医薬品ネットワーク加盟件数

2026年3月末時点



12,003件



医薬品ネットワーク展開

47都道府県

連結従業員数

2026年3月末時点



5,290人

※臨時従業員含む

創立年



1999年

2025年9月時点

従業員の平均年齢

2026年3月末時点



41.5歳

産休・育休取得後の復帰率

2026年3月末時点



93.7%

Outline

会社概要 (2026年6月末時点)

商号	株式会社メディカルシステムネットワーク(証券コード:4350)
本社所在地	〒060-0010 北海道札幌市中央区北10条西24丁目3番地 AKKビル TEL 011-612-1069(代) FAX 011-612-1068
設立	1999年9月16日
資本金	2,128百万円
代表者	代表取締役社長 田尻 稲雄
決算期	3月31日
事業内容	地域薬局事業／医薬品ネットワーク事業／医薬品製造販売事業／医薬品物流事業／ デジタルシフト事業／賃貸・設備関連事業／給食事業／訪問看護事業

グループ会社と事業領域

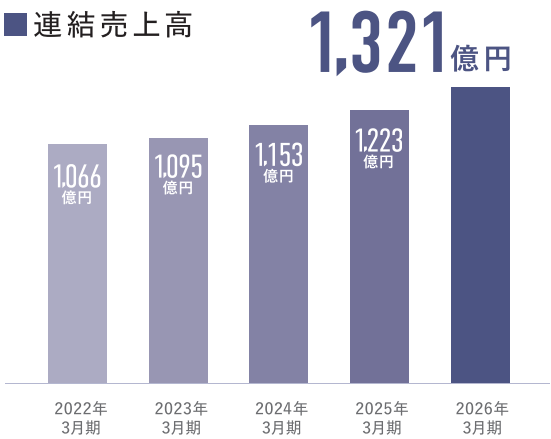
	【事業領域】	【事業内容】
株式会社メディカルシステムネットワーク	メディカル領域	賃貸・設備関連、訪問看護
	メディカルサポート領域	医薬品ネットワーク
株式会社北海道医薬総合研究所	メディカル領域	地域薬局
株式会社なの花北海道	メディカル領域	地域薬局
株式会社なの花東北	メディカル領域	地域薬局
株式会社なの花東日本	メディカル領域	地域薬局
株式会社なの花中部	メディカル領域	地域薬局
株式会社なの花西日本	メディカル領域	地域薬局
株式会社なの花九州	メディカル領域	地域薬局、給食
株式会社さくらフーズ	メディカル領域	給食
株式会社パルテクノ	メディカル領域	賃貸・設備関連
株式会社ファーマシフト	メディカルサポート領域	デジタルシフト
株式会社フェルゼンファーマ	メディカルサプライ領域	医薬品製造販売
株式会社メディロジネット	メディカルサプライ領域	医薬品物流
アグリマス株式会社 ※連結対象外	メディカル領域	介護予防デイサービス

事業所所在地

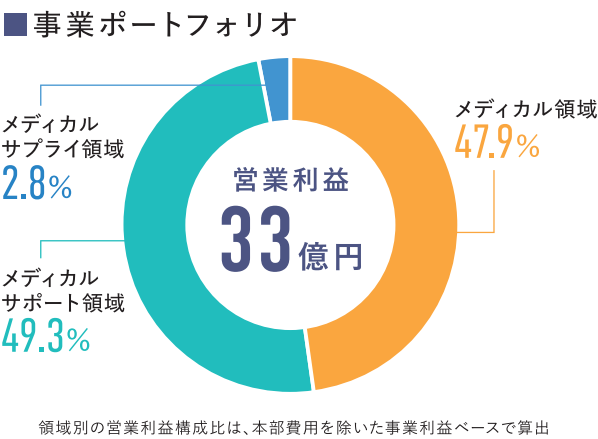


業績ハイライト (2026年3月期)

■連結売上高



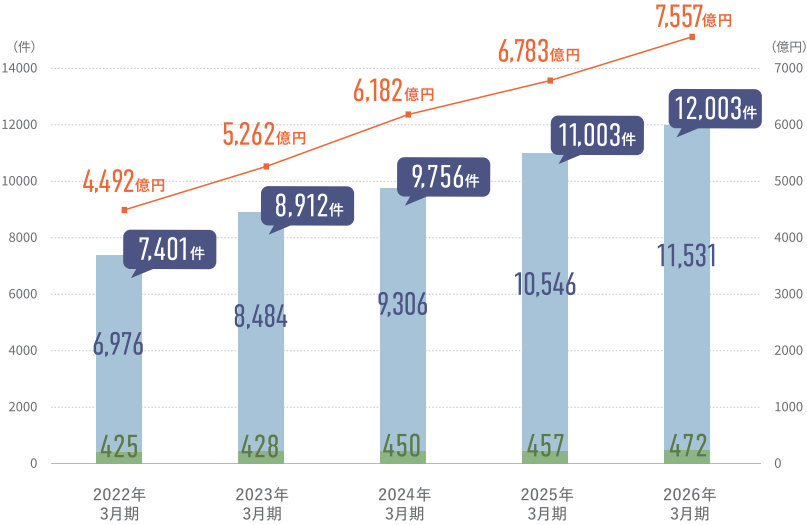
■事業ポートフォリオ



■医薬品ネットワーク
加盟件数



■医薬品発注取扱高
7,557 億円



ち か く に い る 。
ち か ら に な る 。

株式会社
メディカルシステムネットワーク
MEDICAL SYSTEM NETWORK GROUP

〒060-0010 北海道札幌市中央区北10条西24丁目3番地 AKKビル
TEL 011-612-1069(代) FAX 011-612-1068

<https://www.msnw.co.jp/>

